



# 弁護士アプリの使い方

48

といった具合に弁護士に相談してみてください。

費用が生じます。費用は とか「こちらが不眞合を遠慮なく弁護士に確認し 黙っていると、せっかく

その契約がリスクに見合 そのままの内容で締結に  
う契約なのかという視点 至りました。取引先は特

てください。費用から  
算して衣類内客を決め

の規定が無意味

味になりま  
ナまじよ  
も生まれま  
る・結果

に契約内容に関心もなかつこようです。

顧問料の範囲で対応し、3・具体例

う」といった回答をしました。

結局、上記経営者Aは、  
自分に不利な条項については、あくまでも私個人の

**答不・契約内容の  
をさせてみましょう**

翻訳  
もちらん契約交渉から弁護士に任せることはできますし、それはぐくべきことです。ただし、内容について説明してもうくらいはしてもらつておいて損はありません。せっかく顧問弁護士任せでありますから。

先日も売買契約の内容について経営者Aから相談を受けました。ごく単純な売買でしたので、ご自身で書式を見つけてきて案文を作成しておられました。しかし、その内容についてはあまり理解されていませんでした。こちらからは「この内容については譲り受けたので、専門的な知識がないので、翻訳を依頼する」と表現しました。

今日は、契約内容を弁護士にかみ砕いて説明させることをもって「翻訳」契約交渉の中で、結果として、こちらに不利な条項を飲まざるを得ない場面は多いでしょう。しかし、そのリスクを理解し、そのリスクを理解し

に提示してみたところ、じて解くださる。意見でするので、その点  
藤野恵介（ふじの・けいすけ）弁護士（大阪弁護士会所属、38歳、梅田法律・会計事務所・大阪市北区梅田一-2-2-1000号、電話06-6345-1618（午前10時～午後5時）、<http://umeda-law.jp>）。主な専職は、大弁遺言相続委員会委員、専門相談員（遺言相続▽家事▽債務整理▽交通▽労働▽建築）、大阪住宅紛争審査会選議委員。ピラティス受講。

契約締結にあたつての弁護士の使い方

か溝一たどきにはござ  
うリスクがありますね」  
解せずに結婚するので  
は大違ひです。そもそも、

◆お知らせ 本ドラマ読者の方は、初回の法律相談を無料とさせていただきます。